

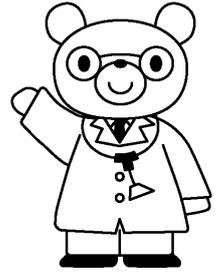


家庭でおこる事故を防ぎましょう



普段の生活で何気なく使っているものでも、お子さんの事故の原因となるものが多くあります。自分の子どもより少し先の月齢のお子さんの動きや様子を見て予測すると事故を防ぎやすくなります。

「自分の子はまだ〇〇する月齢ではないから」と思うのではなく、「もう〇〇する月齢に達するから」と、家庭の環境を整えることが大切です。



子どもの事故あれこれ



乳幼児に多い事故には、誤飲・窒息・転落・やけど・打撲・切り傷などがあります。

○ 誤飲 ○

- 1位 紙や包装紙の切れ端
- 2位 医薬品
- 3位 玩具
- 4位 文具
- 5位 アクセサリー

その他 化粧品、ボタン電池、タバコ、コインなど



○ 家庭内事故発生場所 ○

- 1位 居間
- 2位 台所
- 3位 階段
- 4位 子ども部屋



○ 転落場所 ○

- 1位 バッド (ベビーベッド含む)
- 2位 ソファ
- 3位 椅子 (ベビーチェア含む)
- 4位 階段



○ やけど ○

- 1位 電器・ガス製品 (ホットプレート・炊飯器・電球等)
- 2位 暖房器具 (ストーブ・ヒーター)
- 3位 食品 (ごはん・粥)
- 4位 調理器具



寒くなる時期は、高温になりやすい器具を使う頻度が増えます。子どもは大人より皮膚が薄いため、深いやけどになりやすく、短い時間でやけどに至ります。

熱いものに触れてしまった場合は、水道水などのきれいな流水で、冷却と洗浄をしましょう。水泡があれば破れないようにし、冷たいガーゼやタオルを当てて、医療機関を受診しましょう。

子育てアンケート



食事のおはなし



冬至の話

今年の冬至は、
12月22日(金)です。

1年で最も夜が長く、昼が短い日です。この日を境に昼の時間が長くなり、夜の時間が短くなっていきます。

冬至の日に体を温めてくれる効果があるかぼちゃを食べて、ゆず湯に入ると1年間大きな病気にならず、風邪をひいても早く治るといわれています。



大人のマナー、見られていますよ

食卓において、大人が子どもに見せる大切なマナーは、「楽しく、おいしく食べる」こと。

箸の持ち方や器の扱いも、子どもたちは大人のしぐさをよく見て、まねをしようとします。

そんな子どもたちのお手本としては、食事時のテレビやスマートフォンは不要かもしれませんね。大人がよいマナーで食事ができるよう、気をつけていきたいですね。

